

2019年度 日本文化人類学会 第4回理事会 議事録

日時：2019年10月5日（土）14：00～18：00

場所：首都大学東京秋葉原サテライト（ダイビル12階）

＜出席理事＞清水展、赤堀雅幸、綾部真雄、石田慎一郎、風間計博、川田牧人、木村周平、窪田幸子、栗田博之、佐々木重洋、高倉浩樹、棚橋訓、中谷文美、松村圭一郎、森山工、箭内匡

＜委任状提出者＞飯田卓、石井美保、伊藤泰信、亀井伸孝、曾我亨、速水洋子、森田敦郎

〔承認事項〕

1. 第3回理事会議事録（案）について承認。
2. 新入会員4名につき、業務執行理事で入会を承認したことを報告し、事後承認。

〔報告事項〕

1. 代表理事報告
 - ・2019年度朝日賞の候補者について推薦を行ったことを報告。
 - ・第15回日本文化人類学会賞について代議員に候補者推薦依頼を行ったことを報告。
 - ・台湾人類学会（9月28日、29日開催）に、清水代表理事、窪田理事、亀井理事、中空萌会員が本学会を代表して出席し、発表や意見交換を行ったことを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・「第9回（2020年度）三島海雲学術賞」の学会推薦の選考及び推薦を行ったことを報告。
3. 総務理事報告
 - ・本学会主催の公開シンポジウムが11月9日に関西大学で開催されることを報告。
 - ・GEAHSSの運営委員会が9月27日に開催されたことを報告。担当の中谷理事より、嶺崎寛子会員が中谷理事の代理で出席したこと、会費の額が決定したこと、今後の事務局のあり方について検討中であることを報告。事務局に関しては、本学会の関わり方について検討していく必要があることを確認。窪田理事より、GEAHSSの設立には日本学術会議内の総合ジェンダー分科会が関わっており、初代委員長は分科会メンバーが務めたが、このたび新委員長が選出されて新執行部が発足することになり、分科会メンバーである窪田理事は監事となる見込みであること、人文・社会科学系男女共同参画に関する学協会アンケートは今後も実施予定であることを報告。アンケートへの一層の協力が必要であることを確認。
4. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき14件のJASCA-INFO

配信を行ったことを報告。

- ・配信すべきメールの一部について、何らかの原因により配信がうまくいかない状態が発生しており、対応を検討中であることを報告。
- ・JASCA-NET に転送を促す文言を含んだ投稿があり、投稿者に委員長名で注意喚起したことを報告。

5. 各種委員会報告

- ・『文化人類学』編集委員会：綾部理事より、84巻2号の刊行と84巻3号以降の進捗状況を報告。学会賞受賞記念論文は84巻4号に掲載予定であると報告。
- ・JRCA編集委員会：佐々木理事より、Vol. 20-1、20-2の進捗状況を報告。
- ・「国際情報発信強化」特別委員会：窪田理事より、ポーランドのポズナンで開催されたIUAES中間会議に出席したこと、来年はクロアチア・シベニックで開催されること、「中間会議（インターコンGRESS）」の呼称を「コンGRESS」へ変更することを報告。また、台湾人類学会へ出席したこと、本学会からの出席者のうち、亀井理事と中空会員の旅費は台湾人類学会側が負担したことを報告。
- ・国際化グローバル化対応委員会：中谷理事より、韓国で開催されたEAAA（East Asian Anthropological Association）に出席したことを報告。EAAAの概要や現状については以下の通り。①参加者120人のうち約半数が韓国外からの参加であり、日本からは約20人が参加し、台湾からは同日程で台湾人類学会が開催されているにも関わらず台湾人類学会の前会長と元会長が参加した。②東アジア地域自体を対象にした発表だけでなく、東アジアにベースを置く研究者が東アジア地域以外を対象とする研究成果を発表するパネルなどが目立った。③尾崎孝宏会員、川口幸大会員、上流水久彦会員らの共編による教科書に関するセッションがEAAAにふさわしいものとして高く評価された。④EAAAは会員組織や事務局を持たず、毎年交代で研究大会を開催するという緩やかな形で運営されてきたが、次世代への引き継ぎが問題となっており、狭い意味での東アジア研究にこだわらず、東アジアにベースを置く人類学者の研究交流という方向を明確にしつつある。以上を踏まえ、中谷理事より、2023年に日本でEAAAが開催される予定なので、学会としての関与をもう少し深めることを検討した方がよいのではないかと提案があった。
- ・学会歴史委員会：欠席の飯田理事に代わり木村理事より、文化人類学者・民族学者インタビュー映像記録について、故江上波夫会員の映像について再公開が決定したこと、閲覧者確認資料として会員リストを国立民族学博物館と常民文化研究所へ提供したことを報告。
- ・研究発表査読委員会：発表要旨フォームの微調整を行ったことを報告。
- ・研究大会実施委員会：木村理事より、第54回研究大会のホームページ及び第1回サーキュラーを公開したことを報告。
- ・地区研究懇談会：栗田理事より、各地区研究懇談会の開催スケジュールを報告。

- ・倫理委員会：欠席の亀井理事に代わり窪田理事より、アイヌ民族に関する研究についての研究倫理指針のまとめに関し、その進捗状況を報告。本学会主催の公開シンポジウム「アイヌ民族と博物館－文化人類学からの問いかけ」（2020年1月26日開催）について文部科学省へ後援名義の使用を申請することを報告。
 - ・次世代育成セミナー実施運営委員会：松村理事より、11月17日に東京外国語大学で次世代育成セミナーを開催すること、提出された発表草稿について選考を行い発表者を確定したこと、当日は運営委員が積極的にコメントをする方針であることを報告。
 - ・植松東アジア研究基金委員会：石田理事より、次年度の募集要項について次回理事会で提案する予定であること、今年度採択された課題については学会ホームページに掲載する予定であることを報告。
6. 日本学術会議 文化人類学関係分科会報告
- ・日本学術会議会員の窪田理事より、「多文化共生分科会」「歴史的遺物返還に関する検討分科会」等、各分科会の活動について報告。「文化人類学分科会」では自然人類学との連携を模索するシンポジウムを開催する予定であること、今後自然人類学との関係を深めていく必要があることを報告。

〔審議事項〕

1. 次期以降の委員会の構成について
 - ・川田総務担当理事より、これまでの理事会における議論を踏まえた最終案が提示され、審議の結果、理事、業務執行理事の選出に関する文言を調整の上、承認された。なお、確定版を理事会メーリングリストで配信することとした。
2. 法人化に伴う各種規程について
 - ・木村庶務担当理事より、任意団体時の評議員選出規則から代議員選出規則への改正案について変更点を中心に説明があり、審議の結果、承認された。なお、選挙管理委員会の構成については今後検討の余地があることを確認した。
 - ・川田総務担当理事より、理事選出規則案についての説明があり、次期以降の委員会の構成に基づき文言の修正点を確認のうえ、承認された。実際の運用については、引き続き検討を行うこととした。
3. 『文化人類学』投稿規程および執筆細則の改訂について
 - ・『文化人類学』編集主任の綾部理事より、投稿規定及び執筆細則、Q&Aの改定案が提示され、編集委員の箭内理事より、改定の背景、過去からの経緯、現状についての説明があり、各案の詳細についての説明がなされた。審議の結果、今回の議論を踏まえた改定案を次回理事会で審議することとした。改定案が承認された場合には、JASCA-INFO、学会ホームページ、学会誌にて会員への周知を行うことを確認した。
4. 研究大会の運営について
 - ・研究大会実施委員の木村理事より、第53回研究大会の決算報告書について説明があり、

審議の結果、預け金の学会への返還と余剰金の学会への寄付を含め、決算報告が承認された。石田会計理事より、余剰金の学会への寄付は収益ではないため、学会の公益性に見合った事業のために将来計画基金へ組み入れることが提案され、承認された。

- ・木村理事より、2020 年度に開催の第 54 回研究大会では、研究発表の前日である 5 月 29 日（金）に早稲田文化人類学会との共催で公開シンポジウムを開催することが提案され、承認された。

5. 波平基金の用途について

- ・文化人類学教育委員長の松村理事より、学会賞奨励賞受賞者が対象論文を JRCA へ投稿する際の英文校閲の補助のために波平基金を使用することが提案され、審議の結果、承認された。これを受けて、次年度の本会計予算に英文校閲補助費を計上し、相当額を将来計画基金から本会計へ組み入れることを確認した。また、この点について学会ホームページと JASCA-INFO を通じて会員へ周知することとし、JASCA-INFO の配信文案は松村理事が作成することとした。

6. 日本学術会議学術フォーラムの後援について

- ・木村庶務担当理事より、日本学術会議第一部国際協力分科会主催の公開シンポジウム「公共空間から考えるアジアー多様性・創発性・持続可能性」（2020 年 3 月 8 日開催）の後援依頼があったことが報告され、審議の結果、本学会が後援することが承認された。

7. 今年度発生した災害への対応について

- ・木村庶務担当理事より、今年度発生した災害への対応については、昨年度の方針を踏襲し、お見舞いと被災会員の情報提供依頼のメッセージを会長名で JASCA-INFO にて発信することが提案され、承認された。文案は会長と業務執行理事に一任することとした。

8. その他

- ・清水代表理事より、Alumni 制度等を含む高齢会員向けの会員制度について、次回理事会以降検討を行う予定であることが予告された。
- ・第 5 回理事会は 12 月 14 日（土）14：00～開催予定。

以上